

大隅の國やっちく松山藩

鹿児島県志布志市

【活動概要・効果】

☆地域の若者たちによる地域おこし

○地域に眠る歴史を活用し、若者が独自のアレンジをしている「秋の陣まつり」の開催や各種イベントへの参加のほか、毎月、定例企画会を開催し、「誰もが住みたくなるまちづくり」とは何かをメインテーマに掲げ、あらゆる分野の検討・協議を行い、新しい分野への活動の展開を図っている。

☆「秋の陣まつり」は平成元年から年々内容を充実させながら継続的に開催され、平成18年は5万人もの観光客が訪れるなど、地域イベントの核となっている。まつりには、中高生もボランティアで参加するなど、地域の若者達の知恵と汗による力ともてなしの心によって地域を盛り上げている。

☆継続的な活動により、志布志市松山町は「やっちく」の愛称で知名度が向上している。特産品開発、PR活動、イベント等に、地域全体が「やっちく」に誇りをもって、住民が一体となった地域活性化が図られている。



国際青少年音楽祭（餅つき体験）

《人員確保での工夫・苦労》

我々の活動は、「手づくり」にこだわることによって、構成する異業種9団体それぞれに属する様々な人材が、登用、活用されていくことが基本となっています。

また、活動によって培った「もてなしの心」は、祭りや交流で訪れる人だけでなく、少しでもボランティアで携わってくれた人材の一人一人を大切に、その人材の活躍の場を提供し、中核となる人材として育成していきます。

また、適時な世代交代により、新しいリーダが新しい人材を引き込み、それらの新しい人材を、前の世代が全面的にバックアップしていくという体制をとっています。

《活動資金確保での工夫・苦労》

活動は、行政との協働を原則としております。

毎月行う定例企画会議において、地域活性化への協議を行い、行政へ提言することにより、行政で予算化し、やっちく松山藩は地域づくりの「行動隊」として実践しています。

また、不足する場合は企業等の補助金や、市を通じて地域活性化センター等の補助金を活用したりします。

【現場の声】

我々が続けてきたのは、「秋の陣まつり」という祭りを誇りに思うこと、また、なくてはならないと危機感を持ち続け、心を一つに新しい風を取り入れるために世代交代が4年ごとに出来たからだと思います。また、民間と行政が一体となってボランティアとして取り組むことで、やっちく松山藩ならではの活動を創り上げられたと感じます。さらに、毎月欠かさず続けてきた定例企画会議は誇りに思います。会議の中では、若者達の意見を尊重し、前向きに事を進め、難儀なことは焼酎を飲み交わすことで笑い飛ばす。そして、我々の活動は、果たして住民の方々に本当に理解され、受け入れられているのが、「やっちく瓦版」なるもので、我々の活動を紹介し、ご意見を頂きながら、活動の検証をしていくよう努力しております。

～大隅の國やっちく松山藩
藩主 坂元 正人さん



奉納武者行列